



# 組織透明化技術と多色蛍光イメージング による動的コネクトーム研究

講師：今井 猛 先生

九州大学大学院医学研究院  
疾患情報研究分野(生理学) 教授



日時：令和6年 9月9日(月) 17:00-18:00

場所：シミックプラザ1階 シミックホール



脳の発達過程や可塑性について理解するには、その素過程のみならず、回路全体の変化を捉えることが重要である。本セミナーでは、固定標本や生きた脳を透明化して回路構造や機能を3次的に捉える手法や、神経回路接続を多色イメージングによってマルチプレックス解析する手法について紹介する。また、こうした技術を使って進めている大脳皮質神経回路の発達や疾患モデルマウスの研究についても紹介する。

参考文献：Nat Commun 15: 5279 (2024); Dev Cell 58:1221- (2023); eLife 7:e40350 (2018); Neuron 96:1139- (2017); Cell Rep 14:2718- (2016); Nat Neurosci 16:1154- (2013)

問い合わせ先 生理学講座神経生理学教室 喜多村和郎 (kitamura@yamanashi.ac.jp)